

働く仲間と地域の 連帯が変える、 いま 沖縄の現在、そして未来

労働運動、市民活動が拓く共生社会の実現に向けて

人々が助け合わなければ、生活を守れなかった時代

私たち働く仲間は、連帯した社会運動と、労働者自主福祉の活動を紡ぎ、その社会を変えてきました。

現在の沖縄を見つめたとき、その「共助」の輪の外で苦しむ仲間と、大切な子どもたちが、

「貧困」という現実さらされています。

子どもは、私たち働く仲間の夢であり、未来そのものです。

ゆいまーるの心で人々を結び、働く仲間と地域のチカラで、沖縄の今を、そして未来を変えるための第一歩として、シンポジウムを開催いたします。その一歩は、働く仲間・地域の仲間とともに築く、未来への第一歩です。

2016 9/17^土

14:00～17:00 (開場/13:30)

沖縄県立博物館・美術館 (2階講堂)

参加無料 (事前のお申込みが必要です)

基調講演 I

労働運動・協同組合運動と
共にある〈ろうきん運動〉への期待

講師 | 中央労福協参与 山本 幸司 氏

基調講演 II

沖縄県における子どもの貧困の現実
～取材現場からの報告～

講師 | 琉球新報社 文化部記者 黒田 華 氏

パネルディスカッション

共生・共助社会の実現に向け、
労働運動・〈ろうきん運動〉はどう向き合うべきか

コーディネーター・コメンテーター・パネリスト予定者

コーディネーター 玉 城 勉 氏 (沖縄県労働者福祉基金協会専務理事)

コメンテーター 山本 幸司 氏 (中央労福協参与)

田中 俊朗 氏 (前なは市民活動支援センター長)

高良 恵一 氏 (連合沖縄事務局長)

パネリスト 稲福 京子 氏 (沖縄県高教組書記長)

岡野 みゆき 氏 (沖縄県労働者福祉基金協会次長)

比嘉 武志 氏 (沖縄県労働金庫地区推進委員長会議議長)

成岡 義光 (沖縄県労働金庫常務理事)